

(書簡)

2021年6月1日(消印)

拝啓 成澤区長

カイザースラウテルン市からの心からの挨拶として、最近制作されたCDをお送りします。このCDには、「Ein Lied für Lautern」(ラウテルンのための歌)というコンクールで入賞した曲が収録されています。

このプロジェクトの詳細と今後計画されている施策については、添付のチラシをご覧ください。

この歌が、コロナ・パンデミックという平常と異なる時においても、私たちの友情のメッセージとなり、私たちの深い関係を示すものでありますように。

敬具

カイザースラウテルン市

副市長

ベアーテ・キンメル

(リーフレットの内容)

ラウテルンのための歌

"歌は人を結びつけます" と、副市長のベアーテ・キンメル氏は、2020年の初夏に開始された「ラウテルンのための歌」を作るための提案募集の動機をまとめました。

このコンクールへの応募期限は、2020年8月31日でした。今回の募集では、基本的に、街の美しさ、魅力、ユーモアのセンス、興味深い財産などを表現した曲を、ドイツ語で創作したものを対象としました。また、歌いたくなるようなコーラスが入っていることも決め手のひとつとなりました。

オリジナリティやクオリティに加え、都市や地域を超えてどのように受け止められるかが審査員の選考基準となりました。そのため、カイザーズラウテルンの現代的で国際的な「小さなグローバルシティ」としての役割に焦点を当てることも、審査員の選考基準の一つとなりました。

審査員は、応募作品の幅広い芸術的多様性を考慮し、ポップス、地域方言、バラード、一般公募の各部門に賞を授与することを決定しました。

副市長のベアーテ・キンメル氏は、「街との深いつながりが、さまざまな形で表現されていることに感動した」と語っています。

プロの手による音楽と、ミュージシャンが制作したビデオクリップで構成された4つの曲は、www.liedfuerlautern.de にて公開され、この姿勢をバーチャルに体験し、一緒に歌う機会を提供しています。

さらに、この4曲はCDに収録され、シティ・マーケティングの枠組みの中で配布されました。

最初のCDは、パンデミックの影響を特に受けた年齢層への励ましの意味を込めて、市内の老人ホームに配られました。

次のステップとして、パンデミックの状況にもよりますが、幅広い層を対象とした公開ライブを行うことも想定しています。

(CD 裏面の内容)

カイザースラウテルン市による「2020 ラウテルンのための歌」コンクール受賞者

コンクール審査委員会:ベアーテ・キンメル副市長兼文化部長、リーザ・モシンスキ(歌手)、シュテファン・バイラー博士、カイザースラウテルン経済促進協会支配人マックス・プンシユタイン、エメリヒ・スモラ音楽学校校長

「審査委員会にとって決定は簡単ではありませんでした。応募されたどの歌も全く特別なものでしたから」とのベアーテ・キンメル副市長の報告です。全部で26曲、皆それぞれ考え得る素晴らしい様式のものばかりで、委員会はそれらを全て聞き、評価しました。シャンソンから大衆音楽、ロックバラード、流行歌まで。「どの歌も共通して、全く見事な手法で、いかに私たちの町や人々、名所、親切で好意的なところなどが素晴らしいかを描いています。」とキンメル副市長は夢中になって話します。とても様々な演奏がなされたため、勝者だけでなく、異なる部門で同時に3つ、そして一つ視聴者賞も追加されました。「私たちからは、これらの歌は特に際立って見え、極めて納得のいくものでした。」キンメル氏はそう続けました。

4人の受賞者は、地域方言部門のオッターバッハ出身トビアス・ジョーン、ポップス部門の有名なバンド”ドッズ”とティム・ミュラー、バラード部門のヤン・ルカ・フェルテン、そして、視聴者の投票による勝者であるペルツァー・カントリー・バンドとコルネリウス・モリトーです。

タイトル

1 10万の理由

演奏: ドッズ

作詞・作曲: ティム・トビアス・ミュラー/ドッズ

2 心の血

作曲・演奏: ヤン・ルカ・フェルテン

3 ラウターの歌

2020 デ・トイバッシュ&マックス

作詞・メロディ: トビアス・ジョーン

音楽・編曲: マリオ・レッシュ

4 ラウター、おー僕のラウター

メロディ、作詞、編曲: マリオ・ビッシンガー、ミヒャエル・ビッシンガー、ティノ・シュレック、コルネリウス・モリトー

5 ラウター、おー僕のラウター ダンスヴァージョン

メロディ、作詞、編曲: マリオ・ビッシンガー、ミヒャエル・ビッシンガー、ティノ・シュレック、コルネリウス・モリトー